

平成21年5月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年10月7日

上場会社名 株式会社 オータケ
 コード番号 7434 URL <http://www.kk-otake.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月14日

(氏名) 吉川 富雄
 (氏名) 堀部 浩市

TEL 052-562-3305

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	6,643	—	182	—	216	—	127	—
20年5月期第1四半期	7,384	3.1	305	7.8	345	7.8	199	3.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第1四半期	29.71	—
20年5月期第1四半期	46.63	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年5月期第1四半期	16,777	—	9,386	—	55.9	2,191.02	—	
20年5月期	15,888	—	9,490	—	59.7	2,215.10	—	

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 9,386百万円 20年5月期 9,490百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	—	—	33.00	33.00
21年5月期	—	—	—	—	—
21年5月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	14,500	—	550	—	600	—	360	—	84.03
通期	30,000	3.4	1,130	2.1	1,230	2.0	730	△1.4	170.39

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第1四半期 4,284,500株 20年5月期 4,284,500株
 ② 期末自己株式数 21年5月期第1四半期 277株 20年5月期 199株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年5月期第1四半期 4,284,292株 20年5月期第1四半期 4,284,361株

※業務予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安、原油高や原材料の高騰による企業業績の悪化や個人消費の低迷等、景気の先行きに不透明感が増しました。

当管材業界におきましては、改正建築基準法等に起因する民間建築工事の落ち込み、企業業績の悪化に伴う設備投資の鈍化、公共投資の削減による市場規模の縮小などにより厳しい経営環境が続いております。このような環境のもとで、当社は新規取引先の開拓や既存取引先でのシェアアップ等営業基盤の拡充に努めてまいりましたが、市場規模が縮小するなか、同業他社との競争は激化し、この第1四半期は売上及び利益ともに厳しい状況となりました。

この結果、当第1四半期会計期間における売上高は66億43百万円となり、前年同期比7億40百万円の減少となりました。利益につきましても、競争激化により売上総利益率が0.5%低下したこともあり、営業利益は1億82百万円（前年同期比1億23百万円の減少）、経常利益は2億16百万円（前年同期比1億29百万円の減少）、四半期純利益は1億27百万円（前年同期比72百万円の減少）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は167億77百万円となり、前事業年度末と比べ8億89百万円増加しました。これの主な要因は現金及び預金が3億12百万円、受取手形及び売掛金が6億3百万円増加したことによります。

負債合計は、73億91百万円となり、前事業年度末と比べ9億92百万円の増加となりました。これの主な要因は短期借入金が11億円増加したことによります。

純資産は93億86百万円となり、前事業年度末と比べ1億3百万円減少しました。これの主な要因は四半期純利益を1億27百万円計上いたしましたが、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が89百万円減少したことと配当金を1億41百万円支払ったことによります。以上により、自己資本比率は55.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ3億12百万円増加し、8億79百万円になりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は6億37百万円となりました。これは主に売上債権が6億3百万円、たな卸資産が1億20百万円増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は7百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得により5百万円、投資有価証券の取得により4百万円資金を使用したことによります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により増加した資金は9億58百万円となりました。これは主に短期借入金により11億円の資金を調達したことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

原油高、円高等による企業の設備投資動向や建設業界の動向等により、当社の業績は影響を受ける可能性があります。現時点では、平成20年7月10日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

今後の経済情勢及び業績の推移により、第2四半期累計期間及び通期業績見込みについて見直しが必要となった場合には速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関し、実地たな卸を省略し前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,520	566,647
受取手形及び売掛金	9,457,631	8,853,929
商品	1,770,407	1,649,429
繰延税金資産	44,288	100,583
その他	47,251	43,409
貸倒引当金	△14,725	△12,698
流動資産合計	12,184,374	11,201,301
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	799,660	812,579
土地	2,271,343	2,271,343
その他(純額)	81,294	80,942
有形固定資産合計	3,152,298	3,164,865
無形固定資産	13,470	13,491
投資その他の資産		
投資有価証券	1,230,013	1,374,139
関係会社株式	23,000	23,000
繰延税金資産	80,643	15,985
その他	147,468	163,428
貸倒引当金	△53,370	△67,430
投資その他の資産合計	1,427,755	1,509,123
固定資産合計	4,593,525	4,687,480
資産合計	16,777,899	15,888,782
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,151,907	5,075,917
短期借入金	1,100,000	—
未払法人税等	43,776	146,011
賞与引当金	77,499	168,000
役員賞与引当金	18,750	15,000
その他	159,924	150,216
流動負債合計	6,551,856	5,555,145
固定負債		
退職給付引当金	463,429	467,686
再評価に係る繰延税金負債	224,482	224,482
その他	151,320	151,320
固定負債合計	839,231	843,488
負債合計	7,391,088	6,398,633

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,312,207	1,312,207
資本剰余金	1,315,697	1,315,697
利益剰余金	6,785,304	6,799,399
自己株式	△488	△333
株主資本合計	9,412,720	9,426,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	292,088	381,176
土地再評価差額金	△317,998	△317,998
評価・換算差額等合計	△25,909	63,177
純資産合計	9,386,810	9,490,149
負債純資産合計	16,777,899	15,888,782

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)
売上高	6,643,611
売上原価	5,779,031
売上総利益	864,579
販売費及び一般管理費	681,738
営業利益	182,841
営業外収益	
受取利息	285
受取配当金	15,481
仕入割引	24,241
その他	5,108
営業外収益合計	45,118
営業外費用	
支払利息	2,031
売上割引	9,191
その他	535
営業外費用合計	11,757
経常利益	216,201
特別利益	
償却債権取立益	3,127
固定資産売却益	635
特別利益合計	3,762
特別損失	
固定資産売却損	141
特別損失合計	141
税引前四半期純利益	219,822
法人税、住民税及び事業税	41,500
法人税等調整額	51,036
法人税等合計	92,536
四半期純利益	127,286

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年6月1日
至 平成20年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	219,822
減価償却費	18,030
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,032
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△90,501
受取利息及び受取配当金	△15,767
支払利息	2,031
有形固定資産売却損益 (△は益)	△493
売上債権の増減額 (△は増加)	△603,652
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,990
その他	16,335
小計	△511,215
利息及び配当金の受取額	15,767
利息の支払額	△2,062
法人税等の支払額	△140,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△637,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,761
有形固定資産の売却による収入	1,012
投資有価証券の取得による支出	△4,361
貸付金の回収による収入	1,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,100,000
配当金の支払額	△141,381
その他	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	958,462
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	312,872
現金及び現金同等物の期首残高	566,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	879,520

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	7,384
II 売上原価	6,387
売上総利益	996
III 販売費及び一般管理費	690
営業利益	305
IV 営業外収益	
1 受取利息及び配当金	16
2 仕入割引	27
3 不動産賃貸収入	5
4 その他	1
計	50
V 営業外費用	
1 支払利息	4
2 売上割引	6
計	10
経常利益	345
VI 特別利益	—
VII 特別損失	9
税引前四半期純利益	335
税金費用	136
四半期純利益	199

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	335
減価償却費	17
退職給付引当金の増減額 (減少:△)	6
貸倒引当金の増減額 (減少:△)	9
賞与引当金の増減額 (減少:△)	△120
役員賞与引当金の増減額 (減少:△)	△3
受取利息及び受取配当金	△16
支払利息	4
売上債権の増減額 (増加:△)	△1,355
たな卸資産の増減額 (増加:△)	△180
仕入債務の増減額 (減少:△)	△168
未払金の増減額 (減少:△)	△22
その他(純額)	26
小計	△1,467
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△4
法人税等の支払額	△370
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,826
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6
有形固定資産の売却による収入	73
投資有価証券の取得による支出	△4
貸付金の回収による収入	1
その他(純額)	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	62
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金増減額 (減少:△)	1,900
配当金の支払額	△141
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,758

	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	△4
VI 現金及び現金同等物の期首残高	487
VII 現金及び現金同等物の期末残高	482